

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和5年5月15日(2023.5.15)

【公開番号】特開2022-30724(P2022-30724A)

【公開日】令和4年2月18日(2022.2.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-030

【出願番号】特願2020-134920(P2020-134920)

【国際特許分類】

F 16 D 65/097(2006.01)

10

F 16 D 55/228(2006.01)

【F I】

F 16 D 65/097 A

F 16 D 55/228

F 16 D 65/097 C

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月2日(2023.5.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

このため、たとえば前進走行時に軽制動を行う場合、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれに作用するモーメントM1は小さくなるが、インナパッド3a及びアウタパッド4aの前進時回入側部分(周方向一方側部分、図5の右側部分)において、モーメントM1の作用方向と、パッドクリップ20a(1対のパッド押圧部60a、60b)の押圧力の作用方向とを一致させることができる。このため、前述した従来構造のように、パッドクリップの弾力に抗して、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれを反時計回りに回動させる必要がない。したがって、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれに作用する小さなモーメントM1によって、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれを反時計回りに回動させることができ、第2モーメント伝達面43を第2モーメント支承面33に容易に当接させることができる。この結果、前進走行における軽制動時に、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれの姿勢を安定させることができ、ブレーキ鳴きの発生を抑制できる。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0095

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0095】

また、後進走行時に軽制動を行う場合にも、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれに作用するモーメントM2は小さくなるが、インナパッド3a及びアウタパッド4aの後進時回入側部分(周方向他方側部分、図5の左側部分)において、モーメントM2の作用方向と、パッドクリップ20a(1対のパッド押圧部60a、60b)の押圧力の作用方向とを一致させることができる。このため、前述した従来構造のように、パッドクリップの弾力に抗して、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれを時計回りに回動させる必要がない。したがって、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれに作用する小さなモーメントM2によって、インナパッド3a及びアウタパッド4aの

50

それを時計回りに回動させることができ、第1モーメント伝達面39を第1モーメント支承面31に容易に当接させることができる。この結果、後進走行における軽制動時においても、インナパッド3a及びアウタパッド4aのそれぞれの姿勢を安定させることができ、ブレーキ鳴きの発生を抑制できる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

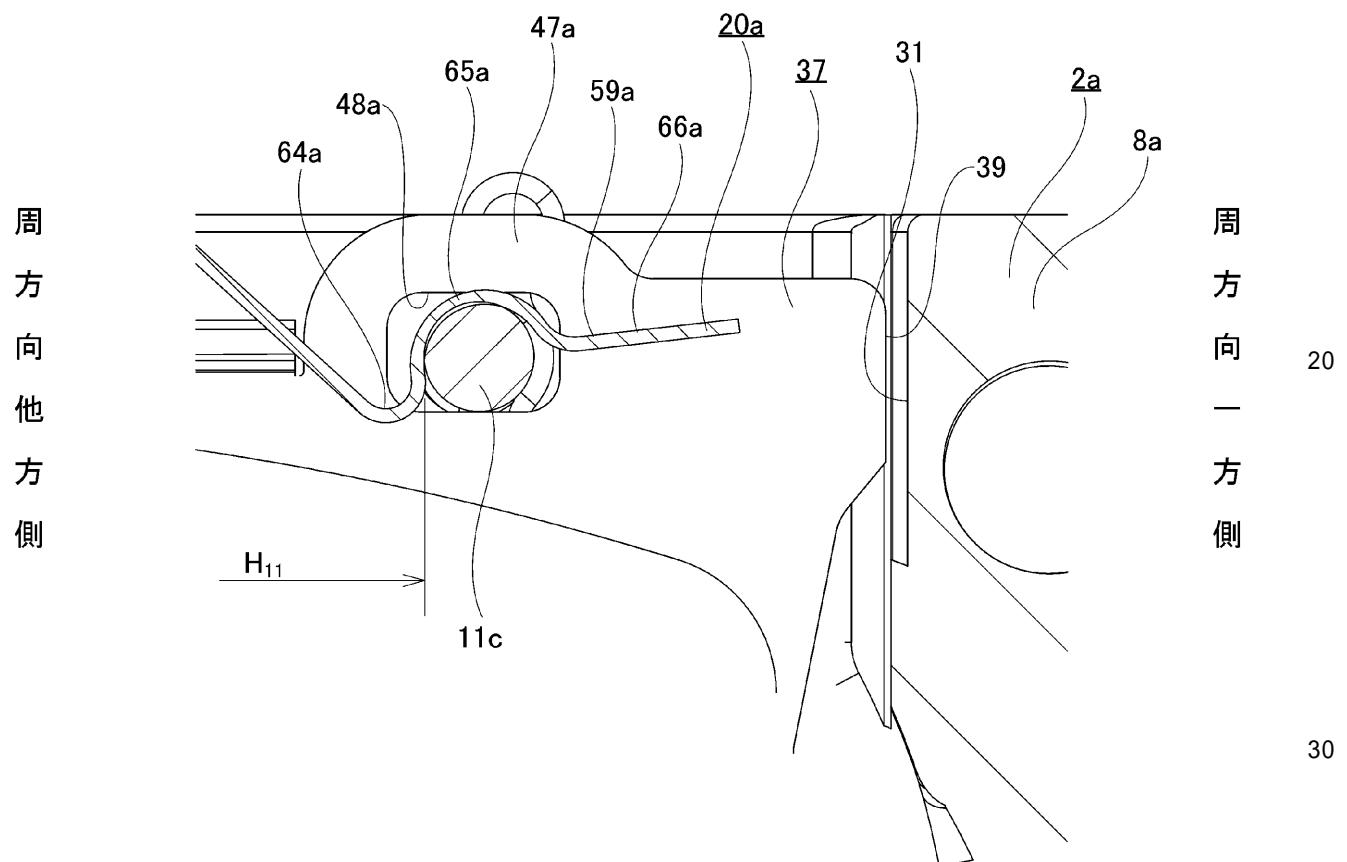
【補正対象項目名】図7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図7】

10



30

40

50